

GMega LX

GM SOUND MODULE

オーナーズマニュアル

KAWAI

ごあいさつ

このたびは、KAWAI GM対応音源モジュールGMega LXをお買い求め頂きまして、まことにありがとうございます。

GMega LXはハーフラックサイズの中に160音色、7ドラムキットを内蔵しており、お求めやすい価格ながらハイクオリティの音質を実現しました。

GM対応ですから、コンピュータミュージックなどの音源として、さらに弊社製品KC20などMIDIキーボードの拡張音源として、デスクトップミュージックからライブパフォーマンスにいたるまで幅広くお使い頂けます。

GMega LXの性能をフルに発揮させていただくとともに、いつまでも末長くご愛用いただくために、ご使用前に必ずこのオーナーズマニュアルをお読みくださるようお願いいたします。

掲載した会社名、商品名（ソフトウェア及びハードウェア）は、開発及び製作販売会社の商標または登録商標です。

GMとは、General MIDIの略名で、音源のMIDI機能の仕様をメーカーを越えて標準化することを目的とした推奨規定です。

目次

● ごあいさつ.....	1
■ 第1章 イン트로ダクション	
1.1 ご使用の前に（ご使用上の注意）.....	4
1.2 GMega LXの特長.....	6
1.3 各部の名称と働き.....	7
1.4 用語集.....	8
■ 第2章 GMega LXのセットアップ	
2.1 GMega LXとオーディオ機器との接続.....	10
1) GMega LXと家庭用のステレオやラジカセなどとの接続.....	10
2) GMega LXとキーボードモニターアンプPMS-102などとの接続.....	10
2.2 GMega LXとパソコンやシーケンサーとの接続.....	11
1) Apple Macintoshシリーズとのシリアル/Fによる接続.....	11
2) IBM PC/ATシリーズとのシリアル/Fによる接続.....	11
3) NEC PC9800シリーズとのシリアル/Fによる接続 (KAWAIサウンドパレットシリーズとの接続).....	12
4) MIDIインターフェースを使用した各種パソコンなどとの接続.....	12
5) GMega LXとシーケンサーとの接続.....	12
2.3 MIDIキーボードなどとの接続.....	13
1) MIDIキーボードにパソコンを加えた接続例.....	13

■第3章 GMega LXリファレンス

3.1	デモ曲を聴いてみましょう.....	14
3.2	GMega LX内蔵機能について.....	14
1)	セクション.....	15
◆	シングルセレクト.....	15
◆	セッティングセレクト.....	16
2)	セッティング.....	16
◆	ステータス.....	16
◆	レベル.....	16
◆	パン.....	16
◆	リバーブ.....	16
◆	トランスポーズ.....	16
◆	チューニング.....	16
◆	バンドレンジ.....	16
◆	モジュレーションデプス.....	16
3)	システム.....	16
◆	GMリセット.....	16
◆	エフェクトタイプ.....	17
◆	リバーブタイプ.....	17
◆	プリディレイ.....	17
◆	デブスロー.....	17
◆	デブスハイ.....	17
◆	チューン.....	17
◆	レシーブプログラム.....	17
◆	ダンプオール.....	17
◆	ダンプセクション.....	17
◆	ダンプシステム.....	17
3.3	GMega LX音色一覧.....	18
3.4	GMega LXドラム・キー・アサイン.....	19
3.5	GMega LXエクスクルーシブ・データ・フォーマット.....	21
3.6	GMega LX仕様.....	24
3.7	シリアル・インターフェース接続ケーブルの仕様.....	25
3.8	GMega LX GMリセット値/パラメーターリセット値.....	26
●	音がでないときには.....	27
●	パラメーターリセットについて.....	27
■	索引.....	28

■MIDIインプリメンテーションチャート

第1章 イントロダクション

1.1 ご使用の前に（ご使用上の注意）

GMega LXを末永くご使用いただくために、つぎの注意を守り、大切にお取り扱いください。

設置場所について

本製品をつぎのような場所でご使用になりますと、故障などの原因となりますのでご注意ください。

- 窓際など直射日光の当たる場所
- 暖房器具のそばなど極端に温度の高い場所、あるいは戸外など極端に温度の低い場所
- 極端に湿度の高い場所
- 砂やホコリの多い場所
- 振動の多い場所

電源について

- 電源は必ず付属のACアダプターを使い、AC100Vでご使用ください。付属のACアダプター以外の電源を使用したり、電源電圧の異なる場所でのご使用は絶対におやめください。
- 接続は正しく、また接続を行なうときは必ず、すべての機器のスイッチをOFFにしてください。
- 消費電力の大きな機器及びノイズを発生する装置とは、別のコンセントを利用してください。
- 長時間ご使用にならない場合は、ACアダプターを電源コンセントから抜いておいてください。
- 落雷などの危険がある場合は、ACアダプターを電源コンセントから抜いておいてください。

電源スイッチを入れる順番について

コンピュータやシーケンサーなどを接続している場合、電源は入力機器（MIDIの送信側機器）、本機、出力機器（アンプ内蔵スピーカーやオーディオ装置など）の順に入れてください。また電源を切るときは、逆の順番で行なってください。

接続について

本機の接続は、スピーカーやアンプの損傷を防ぐために、本機または接続する機器の電源をOFFにした状態で行なってください。

他の電気機器からの影響

GMega LXは、超高速マイクロプロセッサを使用した精密機器です。ラインノイズ、極度の電圧変動などを受けた場合、正常に動作しない場合があります。

このような場合は、一度電源をOFFにして、数秒たってから再びONにしてください。

MIDIケーブルについて

- MIDIケーブルはMIDI規格のものをお使いください。
- MIDIケーブルは15mが限度とされています。これ以上長いケーブルをご使用になりますと、誤動作などトラブルの原因となりますのでご注意ください。

取り扱い、移動について

- 移動するときは、接続コードをはずしてください。
- コード類をはずすときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。
- スイッチや端子に過度の圧力を加えることは避けてください。

本機のお手入れについて

- 本体が汚れたときは、乾いた柔らかい布で汚れをふき取ってください。
- 汚れが激しいときは、中性洗剤で汚れをふき取ったあと柔らかい布で空拭きしてください。
- ベンジンやシンナー類は絶対に使用しないでください。

データバックアップ用のバッテリーについて

GMega LXは、電源OFF後もデータの消滅を防ぐため、バックアップ用のリチウム電池が内蔵されています。リチウム電池の寿命は5年以上ですが、使用環境により若干変動があるため、一応5年を目安に交換されることをお勧めいたします。

交換の際は最寄りのカワイテクノセンター、販売店にお問い合わせください。

修理の際のデータの保存について

本機を修理に出される場合、エディットしたデータが消えることがありますので、大切なデータはあらかじめ他のMIDI機器へDUMPすることをお勧めします。

修理の際は、データの保存に万全を期しますが、やむを得ず保存できない場合はご容赦願います。

改造について

本機を改造したり、内部を開けたりすることは、事故や故障につながりますので絶対におやめください。

改造されたあとの保証はいたしかねます。

保証書について

お買い求めの際に、購入店で必ず保証書をお受け取りください。販売店印やお買い上げ日の記入がない場合、保証期間中でもサービスが有償となることがありますのでご注意ください。

1.2 GMega LXの特長

GMega LXは、電子楽器の新しい国際統一規格GM (General MIDI) に対応した、新世代のマルチティンバーGM音源モジュールです。

クオリティーを追究した音源や、デジタルリバーブなど1クラス上のスペックをハーフラックサイズのケースに搭載していますので、初心者から上級者まで様々なニーズにご使用いただけます。

16セクション (パート) の演奏が可能

ドラムセクションを含め、完全28音ポリフォニック (楽器音色20音+ドラムセクション8音) が使用できます。さらに、16パートを独立して演奏することができるバリエーション豊かなマルチティンバーシステムの採用により、各パートごとの発音数にとらわれず、GMega LXの能力をフルに活用することが可能です。

コンピューター専用I/F (インターフェース) を装備

Apple Macintosh、IBM PC/AT、NEC PC9800の各シリーズ用にMIDI I/Fなしで直接接続できるSERIAL I/Fを装備。GMega LX一台で最先端のDTM (デスクトップミュージック) システムが実現します。

豊富な音色数、高品位な音質

高品位な160音色と、7種類のドラムキットを内蔵。また、18bitDAC (Digital/Analog Converter) の採用により、クリアな音質を再現します。

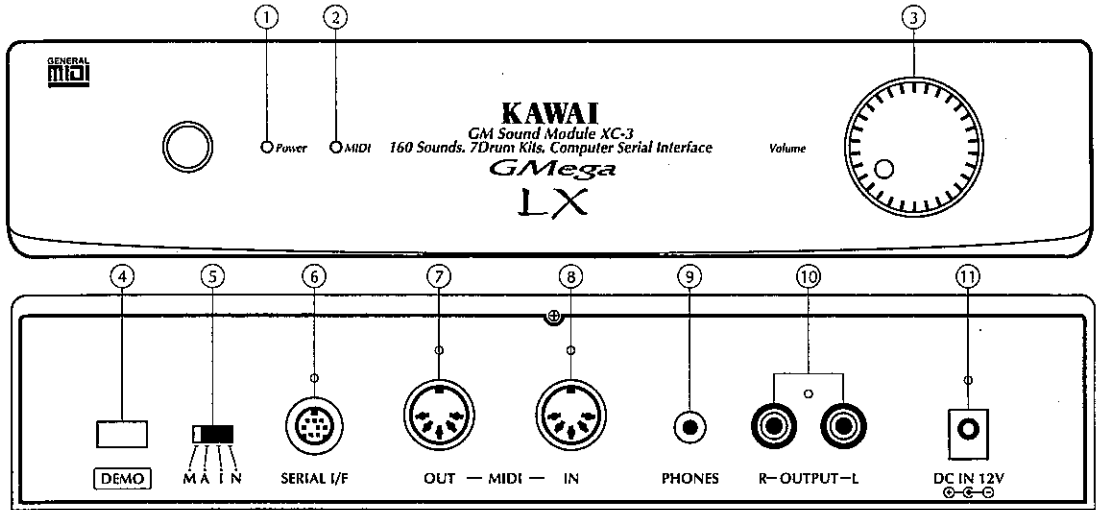
音場効果をシミュレート

6タイプのデジタルリバーブが搭載されています。ホール残響や自然な音の広がり感からライブの臨場感も容易に再現できます。

演奏データのコンパチビリティ

GM規格に準拠した128シングルパッチとドラム音色を内蔵していますので、市販されているGM対応の演奏データを同じ系統の音色で演奏することが出来ます。

1.3 各部の名称と働き



- ① POWER (パワースイッチ)
電源のON (オン) /OFF (オフ) を切り替えるスイッチです。
- ② MIDI (ミディインジケータ)
外部からのMIDI信号を受けると点灯します。
- ③ VOLUME (ボリューム)
ヘッドホン端子およびアウトプット端子から出力される音量を調整します。
- ④ DEMO (デモ)
内蔵のデモ曲の演奏を聴くときに押します。デモ終了後は本体内の音色、その他のセッティングはGMの基本セッティングにリセットされます。したがってGMリセットボタンとしても使用できます。
- ⑤ シリアルインターフェース設定スイッチ
⑥のシリアルインターフェイスを、使用するコンピュータに合わせるためのスイッチです。
M シリアルインターフェイスを使用せず、MIDI IN/OUTを使用するとき
A Apple Macintoshを使用するとき
I IBM PC/ATシリーズを使用するとき
N NEC PC-9800シリーズを使用するとき



使用するコンピュータによって、専用のシリアルケーブルが必要です。
コンピュータと直接接続する場合は、MIDI IN/OUT端子を使用する場合は、MIDI信号の流れが変わります。

- ⑥ SERIAL I/F (シリアルインターフェース)
コンピュータと直接接続する端子です。
- ⑦ MIDI OUT (MIDIアウト)
GMega LX内部の信号 (シリアルインターフェース設定スイッチがMIDIの時) が、コンピュータからSERIAL I/F (シリアルインターフェース設定スイッチがA.I.N.の時) に送られてきた信号が出力されます。
- ⑧ MIDI IN (MIDIイン)
他のMIDI機器からの信号を受ける端子です。
- ⑨ PHONES (ヘッドホン端子)
ヘッドホンを接続する端子です。音量はボリュームつまみで行います。
- ⑩ OUTPUT L/R (アウトプット端子)
GMega LXのオーディオ出力をアンプ内蔵スピーカーやオーディオ装置に接続する端子です。Lが左でRが右を表します。
- ⑪ DC IN (電源ジャック)
付属のACアダプターを接続する端子です。

1.4 用語集

MIDI (ミディ)

MIDIとはMusical Instrument Digital Interfaceの略で、電子楽器どうしで演奏情報をやりとりするための規格です。このMIDI規格に準拠している機器は、MIDIケーブルを介してメーカーに関係なく接続して、データを送ったり音を鳴らしたりすることができます。

MIDIインターフェース

パソコンにMIDI端子をつけるための拡張機器です。拡張スロットに差すタイプのものでRS232C端子 (IBM PC/ATシリーズ、NEC PC9800シリーズ) やRS422端子 (Apple Macintoshシリーズ) に取り付けるタイプのものがあります。

MIDIキーボード

MIDI規格に準拠した鍵盤楽器のことです。デジタルピアノやシンセサイザー、マスターキーボードなどのことです。

MIDIケーブル

MIDI機器どうしを接続するためのケーブルです。

MIDIチャンネル

MIDI機器は送られてきたMIDIデータが自分宛のデータなのかどうかを判断します。つまり自分に割り当てられているチャンネルと送られてきたデータのMIDIチャンネルが等しければ受信し、そうでなければ無視します。テレビやラジオのチャンネルのような概念です。MIDIチャンネルには1から16までであるため、1度に16台の楽器 (パート) をコントロールできます。

GM (ジェネラルMIDI)

これまでは各社が独自の音源を販売していたため、ある機種用に作ったデータを他の機種に使おうとすると、データの変更に多大な労力を必要としていました。このような問題を解決するために生まれたのがこのGM規格です。GM規格に適合した音源用に作られたデータは他のメーカーのGM規格適合の音源でも同じ様な音色で再生できます。

S.M.F (スタンダードMIDIファイル)

SMFはStandard MIDI Fileの略で、異なった機種間でソングデータの互換性を保つために作られた規格です。タイプ0、1、2の3種類があります。

エクスクルーシブデータ

MIDIにはさまざまな信号が定義されていますが、音色エディットなどの細かい機能についてはMIDIでは規格化されていません。このような機能を扱うためにメーカーではエクスクルーシブデータという各社独自の機能をサポートするためのMIDI信号を使うことになっています。エクスクルーシブデータは各社独自のものなのでメーカー間の互換性は有りません。

コントロールチェンジ

MIDIには鍵盤を押した、離れたなどの情報とは別に、ボリューム、ピブラート、パンポット、ホールドなど、演奏中に操作するいろいろな情報があります。これらをMIDIコントロールチェンジと呼び、ナンバーが割り当てられて機能が定義づけられています。

プログラムチェンジ

MIDI機器の多くは、複数の設定や音色をプログラムしておくことができます。それらのプログラムは、コントロールする側からのメッセージで切り替えることができます。このメッセージをプログラムチェンジと呼びます。

リバーブ

コンサートホールやトンネル、お風呂場の中で体験できる残響効果です。

付属品について

GMega LXには次のようなものが付属しています。箱を開けたら、まず入っているものを確認してください。

- ACアダプター
- オーナーズマニュアル（本書）
- 保証書

第2章 GMega LXのセットアップ

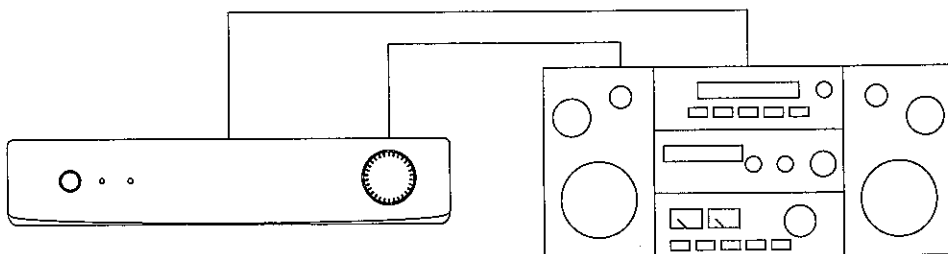
GMega LXのセットアップ方法について説明します。

2.1 GMega LXとオーディオ機器との接続

GMega LXはアンプやスピーカーを内蔵していませんので、お手持ちのオーディオ装置や、カワイ パーソナル モニタースピーカーPMS-102などに接続する必要があります。

1) GMega LXと家庭用のステレオやラジカセなどとの接続

ステレオやラジカセのLINE IN端子又はAUX端子に、ピンケーブルを使ってつなぎます。端子にはL（左）、R（右）といった極性が有りますので、GMega LXのOUTPUTの極性と一致するようにつないでください。



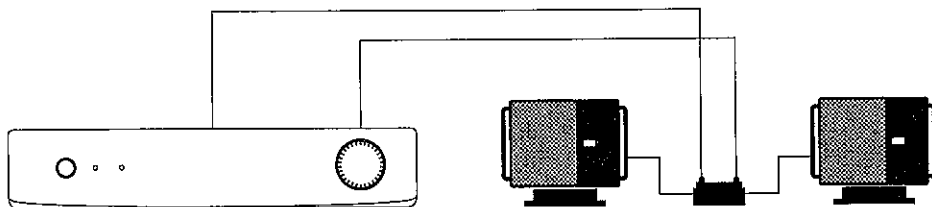
一般的に家庭用のステレオなどは楽器用のアンプなどと比較して過大入力に弱いので、あまり大きな音で再生しないように注意してください。

2) GMega LXとキーボードモニターアンプPMS-102などとの接続

PMS-102のINPUT B端子に、付属のピンケーブルを使ってGMega LXのOUTPUT端子をつなぎます。

L、Rの極性を合わせてください。

またPMS-102のINPUT A端子を使う場合は、変換プラグをご使用ください。

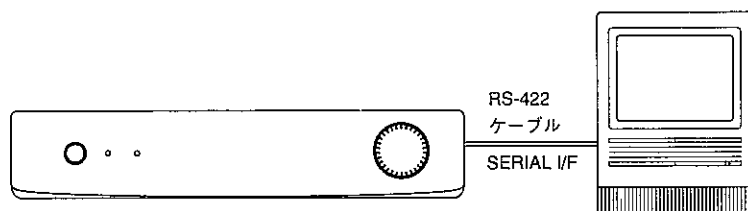


2.2 GMega LXとパソコンやシーケンサーとの接続

1) Apple Macintoshシリーズとのシリアル/Fによる接続

Macintoshシリーズのモデムポート又はプリンターポートとGMega LXのシリアルインターフェイス端子を市販のRS-422ケーブルで接続します。

GMega LXのシリアルインターフェイス設定スイッチを「A」の位置にします

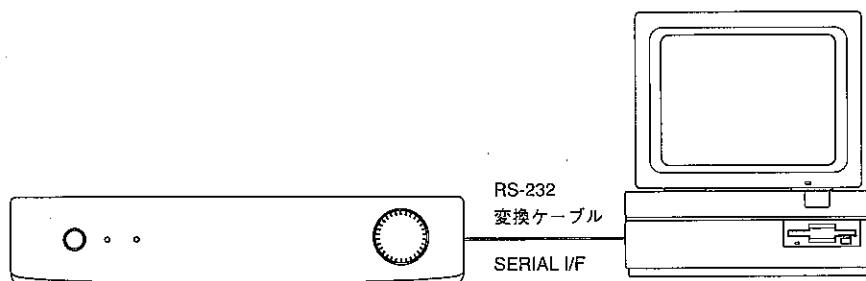


2) IBM PC/ATシリーズとのシリアル/Fによる接続

IBM PC/ATシリーズはRS-232C端子が異なるため、パソコンとGMega LXとをつなぐためには、市販のIBM PC/ATシリーズ接続ケーブルを用意します。

IBM PC/ATシリーズのRS-232C端子とGMega LXのシリアルインターフェイス端子を接続します。

GMega LXのシリアルインターフェイス設定スイッチを「I」の位置にします。



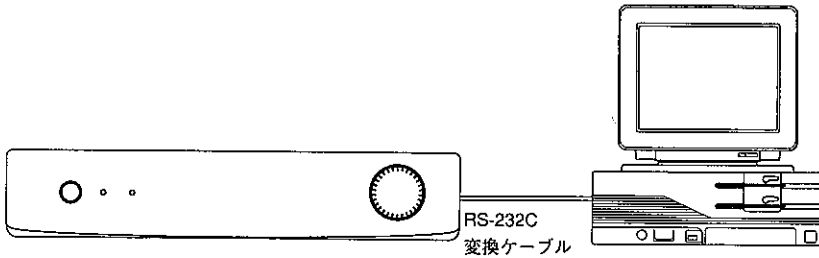
GMega LXセットアップ

3) NEC PC9800シリーズとのシリアル/Fによる接続 (KAWAIサウンドパレットシリーズとの接続)

NEC PC9800シリーズのRS-232C端子とGMega LXのシリアルインターフェース端子を別売のシリアルインターフェースケーブルで接続します。

GMega LXのシリアルインターフェース設定スイッチを「N」の位置にします。

KAWAIサウンドパレットシリーズを使用する時も、この様に接続してください。

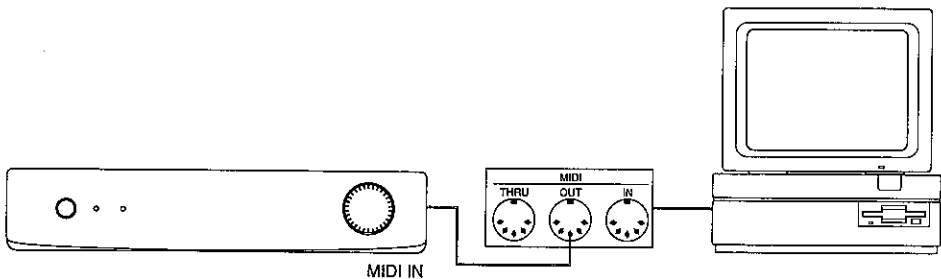


4) MIDIインターフェースを使用した各種パソコンなどとの接続

■ MIDIインターフェースとパソコンを接続します（接続方法はMIDIインターフェースの説明書を御覧下さい）。

■ MIDIケーブルを用意して MIDIインターフェースのMIDI OUTと GMega LXのMIDI INを接続します。

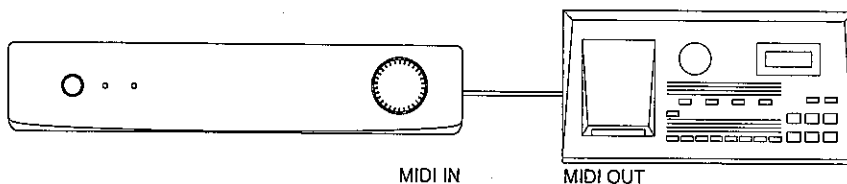
GMega LXのシリアルインターフェース設定スイッチを「M」の位置にします。



5) GMega LXとシーケンサーとの接続

GMega LXとシーケンサーとの接続には、MIDIケーブルを用意してシーケンサーのMIDI OUTとGMega LXのMIDI INを接続します。

GMega LXのシリアルインターフェース設定スイッチを「M」の位置にします。

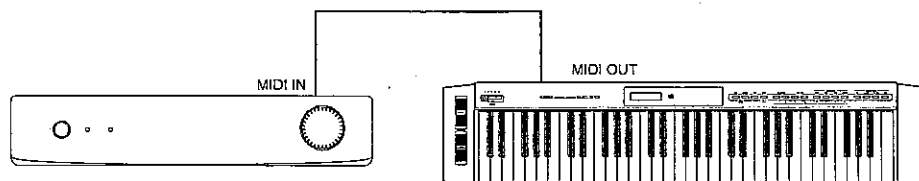


2.3 MIDIキーボードなどとの接続

GMega LXはKAWAI Kシリーズなどのデジタルシンセサイザーやデジタルピアノ、その他のMIDIキーボードなどと接続することによって、GMega LXを直接演奏したり、データを直接パソコンに入力することができるようになります。

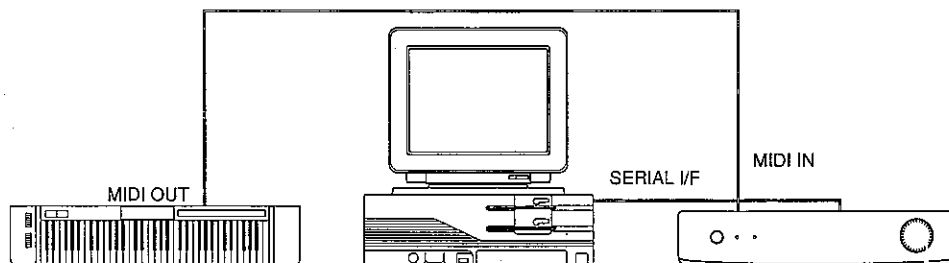
1) MIDIキーボードとの接続例

GMega LXのMIDI INとMIDIキーボードのMIDI OUTをMIDIケーブルで接続します。
GMega LXのシリアルインターフェース設定スイッチを「M」の位置にします。



2) MIDIキーボードにパソコンを加えた接続例

GMega LXのMIDI INとMIDIキーボードのMIDI OUTをMIDIケーブルで接続します。
GMega LXのシリアルインターフェース設定スイッチをコンピューターにあわせて「A、I、N」の位置にします。



第3章 GMega LXリファレンス

3.1 デモ曲を聴いてみましょう

GMega LXの素晴らしい音色を体験できるデモ曲が3曲内蔵されています。

電源をONにした後、本体の裏にあるDEMOボタンを押すとデモ演奏がスタートします。一度デモ演奏をスタートさせると、3曲のデモがくりかえし演奏されます。デモ演奏をストップさせるためには、もう一度DEMOボタンを押します。デモ演奏を終了すると音源はGMリセット状態（セクションの設定が、GMの基本セッティングになる）になります。

デモ曲の演奏情報は、シリアルインターフェースのスイッチの設定に従って、MIDI OUT及びシリアルより出力します。

3.2 GMega LX内蔵機能について

GMega LXには以下の機能が内蔵されていますが、これらのパラメーターはすべて外部からのMIDIコントロールチェンジ又はシステムエクスクルーシブによってのみ、変更可能となります。

お手持ちのシーケンスソフト上から、MIDIコントロールチェンジ又はシステムエクスクルーシブを送信することで、プログラムチェンジやボリュームコントロールなどが可能になります。くわしくは各ソフトウェアのマニュアルを御覧ください。

1) セクション

GMega LXは、MIDIチャンネルに従って、16個のセクション（パート）を持っています。ここでは、各セクションごとに、音色（シングル）とセッティングの選択を行います。

◆ シングルセレクト（001～160, DR1～DR7）

160種類のシングル・パッチと7種類のドラムキットの中から希望する音色を選択する機能です。音色選択はMIDIのプログラムチェンジで行います。

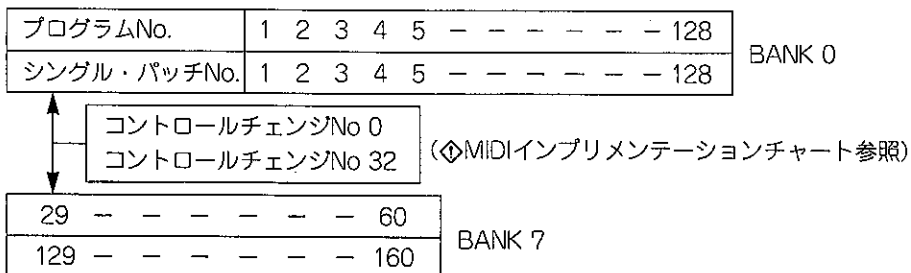
セクションにシングル・パッチがアサインされている場合と、ドラムキットがアサインされている場合とでは、プログラム・チェンジNo.の対応が異なります。

シングル・パッチとドラムキットの切り換えは、エクスクルーシブで行います。

（工場出荷時及びGMリセット時は、CH10のみドラムキットが選択されています）

● シングル・パッチ

シングル・パッチがアサインされているチャンネルでは、そのチャンネルのシングルが下の表に従って変更されます。



GMega LXは160の音色を持っていますが、通常のMIDIプログラムチェンジでは1~128までのプログラムナンバーしか送ることが出来ません。

そこでGMega LXでは1~128までのプログラムをBANK 0に記憶しており129~160までのプログラムをBANK 7のプログラムナンバー29~60に記憶しております。

BANK 7のプログラムにアクセスするためにはMIDIコントロールNo 0とNo 32でバンク切り替えを行った後にMIDIプログラムチェンジを送る必要があります。

例 シングルパッチNo. 129を呼び出す場合

MIDIコントロールチェンジNo 0	0 …… 常に0	}	バンクセレクト
MIDIコントロールチェンジNo 32	7 …… BANK 7を表わす。 BANK 0に戻る時は0		
MIDIプログラムチェンジ	29 …… 上記プログラムNo. の 29を表わす。		

● ドラムキット

ドラムキットがアサインされているチャンネルでは、そのチャンネルのドラムキットが下の表に従って変更されます。

キットNo.	DR1	DR2	DR3	DR4	DR5	DR6	DR7
プログラムNo.	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31	32	-	-	-
	33	-	-	-	-	34	35
	36	37	38	39	40	41	42
	-	-	-	-	-	-	-

◆ セットアップセレクト (01~16)

各セクションにアサインされるセッティングを選択する機能です。

2) セットアップ

セッティングとは、各セクションにアサインされるレベル、パン、リバーブレベルなどの8種類のエディット可能なパラメーター群のことです。

セッティングの各パラメーターの設定は、そのセッティングを選んでいるセクションのMIDIチャンネルによるMIDI情報で行ないます。また、複数のセクションが同じセッティングを使用している場合、どのセクションのMIDIチャンネルからでもセッティングパラメーターの設定を行なうことができます。

Reference

- ◆ ステータス (OFF/ON/SOLO) (エクスクルーシブメッセージ)
各セクションに設定されているプログラムをMIDI信号受信時に発音させるかどうかを選択する機能です。
- ◆ レベル (000~127) (コントロールチェンジNo 7)
各セクションのレベル (音量) を調整する機能です。
- ◆ バン (L64~L01, 00, R01~R63, RND) (コントロールチェンジNo 10、RNDだけエクスクルーシブメッセージ)
各セクションのバン (音の定位) を設定する機能です。エクスクルーシブメッセージでRND (ランダム) に設定すると、Key ONごとに、定位がランダムに変化します。



セクションにドラムキットがアサインされている時はバンの設定は無効です。

- ◆ リバールレベル (Lo/Hi) (コントロールチェンジNo 91、Lo : 0~63、Hi : 64~127)
各セクションのリバール (残響) の深さを調整する機能です。
- ◆ トランスポーズ (-24~00~24) (レジスタードパラメーターのコースチューニング)
各セクションごとのキー (調性) を半音単位で移調する機能です。
- ◆ チューニング (-64~00~63) (レジスタードパラメーターのファインチューニング)
各セクションごとのピッチ (音程) を微調整する機能です。(±50セントまで調整可能です)
- ◆ ベンドレンジ (00~12) (レジスタードパラメーターのピッチベンドセンシティビティ)
各セクションごとにピッチベンドによる変化するピッチの幅を半音単位で設定する機能です。
- ◆ モジュレーションデプス。(00~63) (エクスクルーシブメッセージ)
各セクションごとモジュレーションにより変化するピブラートなどの深さを設定する機能です。

3) システム

ここでは、GMega LX全体に関する設定を説明します。



システムのパラメーターは、全てMIDIのエクスクルーシブ・データで行います。エクスクルーシブ・データの中身については、巻末の「GMega LXエクスクルーシブ・データ・フォーマット」をごらんください。

◆ GMリセット

GMega LXのセクション、セッティングの設定を、巻末の「GMリセット値」に戻します。



GMリセットをかけると、それまでの設定は消えてしまいます。後述するダンプオール又はダンプセクションを使い、外部機器にデータを保存しておくこともできます。

◆ エフェクトタイプ

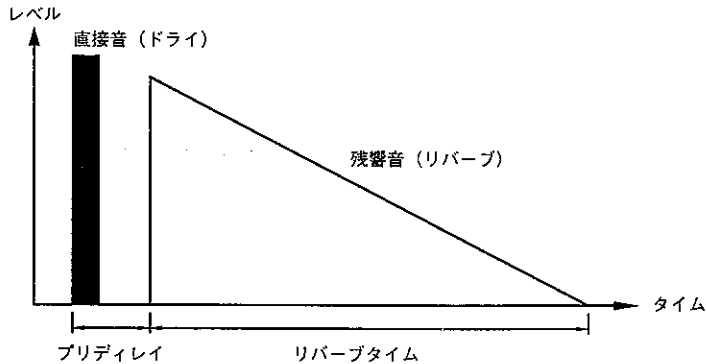
リバーブの種類を、REV1~6の中から選択する機能です。

◆ リバーブタイム

リバーブの反響時間を調節する機能です。

◆ プリディレイ

プリディレイ（音が出てからリバーブがかかり始めるまでの時間—初期反射時間）を調整します。



◆ デブスロー

設定の「リバーブレベル」でパラメーター"Lo"を選んだ時の、リバーブの深さを設定します。

◆ デブスハイ

設定の「リバーブレベル」でパラメーター"Hi"を選んだ時の、リバーブの深さを設定します。

◆ チューン

GMega LX全セクションのピッチの微調整をします。
上下、約1/4音（±50セント）の範囲で調整できます。

◆ レシーブプログラムチェンジ

MIDIプログラムチェンジ信号の受信についての設定をします。
ONのとき、プログラムチェンジ情報によって、シングル、パッチを切り替えることができます。
OFFのとき、外部のシーケンサーなどから送られてくるプログラムチェンジ情報を無視します。

◆ ダンプオール

GMega LX全ての設定値をMIDI OUTから外部MIDI機器（シーケンサーやデータファイター）に送信して保存します。

◆ ダンプセクション

GMega LXの全てのセクションと設定の設定をMIDI OUTから外部MIDI機器に送信して保存します。

◆ ダンプシステム

GMega LXの全てのシステムに関する設定をMIDI OUTから外部MIDI機器に送信して保存します。

GMega LXリファレンス

3.3 GMega LX音色一覧

Reference

No.	Voice	No.	Voice	No.	Voice	No.	Voice
1	GrPiano	41	Violin	81	SquareLd	121	FretNoiz
2	BrPiano	42	Viola	82	Saw Ld	122	BrthNoiz
3	ElGrand	43	Cello	83	CaliopLd	123	Seashore
4	HnkyTonk	44	Contra	84	Chiff Ld	124	BrdTweet
5	ElPiano 1	45	TremStrg	85	CharanLd	125	Telephone
6	ElPiano 2	46	Pizzicto	86	Voice Ld	126	Helicptr
7	Hrpschrd	47	Harp	87	Fifth Ld	127	Applause
8	Clavi	48	Timpani	88	Bass &Ld	128	Gunshot
9	Celesta	49	StrgEns1	89	NewAgePd	129	AtkStrig
10	Glocken	50	StrgEns2	90	Warm Pd	130	ProgLd1
11	MusicBox	51	SynStrg1	91	PolySyPd	131	FunkSE1
12	Vibes	52	SynStrg2	92	Choir Pd	132	FunkSE1d
13	Marimba	53	AahChoir	93	Bowed Pd	133	SawPad
14	Xylophon	54	OohChoir	94	Metal Pd	134	SqrPad
15	TubulBel	55	SynChoir	95	Halo Pd	135	12stGtr
16	Dulcimer	56	Orch Hit	96	Sweep Pd	136	HousBass
17	DrawOrgn	57	Trumpet	97	Rain	137	EP&Bass
18	PercOrgn	58	Trombone	98	SoundTrk	138	Bass&Ld2
19	RockOrgn	59	Tuba	99	Crystal	139	83Organ1
20	ChrcOrgn	60	Mute Trmp	100	Atmosphr	140	83Organ2
21	ReedOrgn	61	FrenchHr	101	Bright	141	SexyVoic
22	Acordion	62	BrasSect	102	Goblin	142	ProgLd2
23	Harmnica	63	SynBras1	103	Echoes	143	SynPizz
24	TangoAcid	64	SynBras2	104	SciFi	144	PchBD&SD
25	NylonGtr	65	SprnoSax	105	Sitar	145	RolDrSet
26	SteelGtr	66	Alto Sax	106	Banjo	146	DstGtSet
27	JazzGtr	67	TenorSax	107	Shamisen	147	DreamPd
28	CleanGtr	68	Bari Sax	108	Koto	148	GtFeedBk
29	Mute Gtr	69	Oboe	109	Kalimba	149	ChorsGtr
30	Ovrdrive	70	EnglHorn	110	Bagpipe	150	BaroqStr
31	Distortd	71	Bassoon	111	Fiddle	151	HyprSnic
32	Harmnics	72	Clarinet	112	Shanai	152	WowSynt1
33	WoodBass	73	Piccolo	113	TnklBell	153	AtckBass
34	FngrBass	74	Flute	114	Agogo	154	BrassPad
35	PickBass	75	Recorder	115	Stl Drum	155	DeepPad
36	Fretless	76	PanFlute	116	WoodBlok	156	MariVibe
37	SlapBas1	77	Bottle	117	TaikoDrm	157	MegaBeat
38	SlapBas2	78	Shakhach	118	MelodTom	158	Hrmnica2
39	SynBass1	79	Whistle	119	SynthTom	159	WowSynt2
40	SynBass2	80	Ocarina	120	RevCymb1	160	Pia&WBas

GMega LXリファレンス

3.4 GMega LXドラム・キー・アサイン

No.	Key Name	STANDARD	ROOM	POWER	ELECTRO	BOB	JAZZ	ORCHSTR
0	C-2	BOB BD	X	X	X	X	X	X
1	C#-2	BOB Rim	X	X	X	X	X	X
2	D-2	BOB SD	X	X	X	X	X	X
3	D#-2	BOB LoTom2	X	X	X	X	X	X
4	E-2	BOB CloseHH	X	X	X	X	X	X
5	F-2	BOB LoTom1	X	X	X	X	X	X
6	F#-2	BOB MidTom2	X	X	X	X	X	X
7	G-2	BOB OpenHH	X	X	X	X	X	X
8	G#-2	BOB MidTom1	X	X	X	X	X	X
9	A-2	BOB HiTom2	X	X	X	X	X	X
10	A#-2	BOB Cym	X	X	X	X	X	X
11	B-2	BOB HiTom1	X	X	X	X	X	X
12	C-1	BOB Cowbell	X	X	X	X	X	X
13	C#-1	BOB HiConga	X	X	X	X	X	X
14	D-1	BOB Midconga	X	X	X	X	X	X
15	D#-1	BOB LowConga	X	X	X	X	X	X
16	E-1	BOB Maracas	X	X	X	X	X	X
17	F-1	BOB Claves	X	X	X	X	X	X
18	F#-1	MONDO BD	X	X	X	X	X	X
19	G-1	Gate SD	X	X	X	X	X	X
20	G#-1	PowerTomLow2	X	X	X	X	X	X
21	A-1	PowerTomLow1	X	X	X	X	X	X
22	A#-1	PowerTomMid2	X	X	X	X	X	X
23	B-1	PowerTomMid1	X	X	X	X	X	X
24	C0	PowerTomHi2	X	X	X	X	X	X
25	C#0	PowerTomHi1	X	X	X	X	X	X
26	D0	X	X	X	X	X	X	X
27	D#0	HighQ						CloseHH
28	E0	Slap						Pedal HH
29	F0	Scratch Push						Open HH
30	F#0	Scratch Pull						SidCym1
31	G0	Sticks						
32	G#0	Square Click						
33	A0	Metronome Click						
34	A#0	Metronome Bell						
35	B0	Acoustic BD 2						Orch. BD2
36	C1	Acoustic BD 1		MONDO BD	Elec.BD	BOB BD	Jazz BD	Orch. BD1
37	C#1	Side Stick				BOB Rim		
38	D1	Acoustic SD 1		Gate SD	Elec.SD	BOB SD	Brush Tap	Orch. SD
39	D#1	HandClap			EFF Clap		Brush Slap	Castanets
40	E1	Acoustic SD 2			Gated SD		Brush Swirl	Orch. SD
41	F1	Low F Tom	Room Tom Low2	PowerTomLow2	Elec.Lo Tom2	BOB LoTom2		Timpani F
42	F#1	CloseHH				BOB CloseHH		Timpani F#
43	G1	Hi F Tom	Room Tom Low1	PowerTomLow1	Elec.Lo Tom1	BOB LoTom1		Timpani G
44	G#1	Pedal HH				BOB CloseHH		Timpani G#
45	A1	Lo Tom	Room Tom Mid2	PowerTomMid2	Elec.Mid Tom2	BOB MidTom2		Timpani A
46	A#1	Open HH				BOB OpenHH		Timpani A#
47	B1	Lo-Mid-Tom	Room Tom Mid1	PowerTomMid1	Elec.Mid Tom1	BOB MidTom1		Timpani B
48	C2	Hi-Mid-Tom	Room Tom Hi2	PowerTomHi2	Elec.Hi Tom2	BOB HiTom2		Timpani c
49	C#2	TopCym				BOB Cym		Timpani c#
50	D2	High Tom	Room Tom Hi1	PowerTomHi1	Elec.Hi Tom1	BOB HiTom1		Timpani d
51	D#2	SidCym						Timpani d#
52	E2	ChinaCym.			ReverseCym.			Timpani e
53	F2	RideBell						Timpani f
54	F#2	Tambourne						
55	G2	SplashCym.						
56	G#2	Cowbell				BOB Cowbell		
57	A2	TopCym2						Orch. Cym2
58	A#2	Vibraslap						
59	B2	SidCym2						Orch. Cym1
60	C3	Hi Bongo						
61	C#3	Lo Bongo						
62	D3	Mute Hi conga				BOB HiConga		
63	D#3	Open Hi Conga				BOB Midconga		
64	E3	Lo Conga				BOB LowConga		
65	F3	Hi Timbale						
66	F#3	Lo Timbale						
67	G3	Hi Agogo						
68	G#3	Lo Agogo						
69	A3	Cabasa						
70	A#3	Maracas				BOB Maracas		
71	B3	Short Whistle						

Reference

GMega LXリファレンス

No.	Key Name	STANDARD	ROOM	POWER	ELECTRO	BOB	JAZZ	ORCHSTR
72	C4	Long Whistle						
73	C#4	Short Gulro						
74	D4	Long Gulro						
75	D#4	Clabe				BOB Clabes		
76	E4	Hi Wood Block						
77	F4	Lo Wood Block						
78	F#4	Mute Cuica						
79	G4	Open Cuica						
80	G#4	Mute Triangle						
81	A4	Open Triangle						
82	A#4	Shaker						
83	B4	Jingle Bell						
84	C5	Belltree			Echo Gras			
85	C#5	Castanets						
86	D5	MuteSurdo						
87	D#5	OpenSurdo						
88	E5	Elec.BD	X	X	X	X	X	Applause
89	F5	Elec.SD	X	X	X	X	X	X
90	F#5	Elec.Lo Tom2	X	X	X	X	X	X
91	G5	Elec.Lo Tom1	X	X	X	X	X	X
92	G#5	Elec.Mid Tom2	X	X	X	X	X	X
93	A5	Elec.Mid Tom1	X	X	X	X	X	X
94	A#5	Elec.Hi Tom2	X	X	X	X	X	X
95	B5	Elec.Hi Tom1	X	X	X	X	X	X
96	C6	ReverseCym	X	X	X	X	X	X
97	C#6	Brush Tap	X	X	X	X	X	X
98	D6	Brush Slap	X	X	X	X	X	X
99	D#6	Brush Swir	X	X	X	X	X	X
100	E6	Jazz BD	X	X	X	X	X	X
101	F6	Orch. BD2	X	X	X	X	X	X
102	F#6	Orch. BD1	X	X	X	X	X	X
103	G6	Orch. SD	X	X	X	X	X	X
104	G#6	Timpani F#	X	X	X	X	X	X
105	A6	Timpani F#	X	X	X	X	X	X
106	A#6	Timpani G#	X	X	X	X	X	X
107	B6	Timpani G#	X	X	X	X	X	X
108	C7	Timpani A	X	X	X	X	X	X
109	C#7	Timpani A#	X	X	X	X	X	X
110	D7	Timpani B	X	X	X	X	X	X
111	D#7	Timpani C	X	X	X	X	X	X
112	E7	Timpani c#	X	X	X	X	X	X
113	F7	Timpani d	X	X	X	X	X	X
114	F#7	Timpani d#	X	X	X	X	X	X
115	G7	Timpani e	X	X	X	X	X	X
116	G#7	Timpani f	X	X	X	X	X	X
117	A7	Orch. Cym2	X	X	X	X	X	X
118	A#7	Orch. Cym1	X	X	X	X	X	X
119	B7	Applause	X	X	X	X	X	X
120	C8	Room Tom Low2	X	X	X	X	X	X
121	C#8	Room Tom Low1	X	X	X	X	X	X
122	D8	Room Tom Mid2	X	X	X	X	X	X
123	D#8	Room Tom Mid1	X	X	X	X	X	X
124	E8	Room Tom Hi2	X	X	X	X	X	X
125	F8	Room Tom Hi1	X	X	X	X	X	X
126	F#8	EFF Clap	X	X	X	X	X	X
127	G8	Echo Gras	X	X	X	X	X	X

Reference

3.5 GMega LXエクスクルーシブ・データ・フォーマット

No.	Description	Value
1	Exclusive	FOH
2	Kawai ID	40H
3	Channel no.	0nH (n=0~FH)
4	Function no.	0~7FH
5	Group no.	00H
6	Machine no.	09H
*	data	0~7FH
*	data	0~7FH
*	EOX	F7H

Group [A] Parameter Send

[A-1] System Functions

Format:F0 40 0n 10 00 09 00 <NO.> 00 <DH> <DL> F7

Data(8bit)=16x<DH>+<DL>

PARAMETER	No.	DATA
Eftype (EFFECT TYPE)	00	[00H=REV1]~[05H=REV6]
RVtime (REVERB TIME)	01	[00H=1]~[09H=10]
PREDly (REVERB PRE DELAY)	02	[00H=0]~[0AH=10]
DpthLo (REVERB DEPTH LO)	03	[00H=1]~[7FH=128]
DpthHi (REVERB DEPTH HI)	04	[00H=1]~[7FH=128]
Tune (UNIT TUNE)	08	[00H=-64] ~ [40H=0]~[7FH=+63]
RcvPrg (UNIT RCV PGM)	09	00H=OFF/01H=ON

ex) Send System Functions Eftype(REV1)
 → F0 40 00 10 00 09 00 00 00 00 00 F7
 Ch1 Eftype REV1

[A-2] Compose Mode Section Functions

Format:F0 40 0n 10 00 09 03 <No.> <Sec> <DH> <DL> F7

Data(8bit)=16x<DH>+<DL>

PARAMETER	No.	DATA
Single(SNGL No.)	00	[00H=1]~[9FH=160](SNGL) / [A0H=DR1]~[A6H=DR7](DRUMS)
Setting(SETTING)	01	[00H=1]~[0FH=16]

ex) Send Compose Mode Section Functions Single(160)
 → F0 40 00 10 00 09 03 00 00 09 0F F7
 Ch1 Single 160

[A-3] Compose Mode Setting Functions

Format:F0 40 00 10 00 09 04 <No.> <Set> <DH> <DL> F7

On=UNIT RCV CH(n=0~FH)

<Set>=Setting No.(00H~0FH)

Data(8bit)=16x<DH>+<DL>

PARAMETER	No.	DATA
Status(STATUS)	00	00H=OFF/01H=ON/02H=SOLO
Level(LEVEL)	01	[00H=0]~[7FH=127]
Pan(PAN)	02	[00H=L64]~[40H=0]~[7FH=R63]/80H=RND
Rev(REVERB)	03	00H=LO/01H=HI
Trans(TRANSCOPE)	04	[00H=-24]~[30H=+24]
Tune(TUNE)	05	[00H=-64]~[7FH=+63]
BndRng(BEND RANGE)	06	[00H=0]~[0CH=12]
ModDep(MODULATION DEPTH)	07	[00H=0]~[3FH=63]

Reference

GMega LXリファレンス

ex) Send Compose Mode setting Functions Status(SOLO)
→ F0 40 00 10 00 09 04 00 00 00 02 F7
Ch1 Status SOLO

Group [B] Data Dump

[B-1] Dump System Functions

Format:F0 40 00 20 00 09 00
<Data(00)H> <Data(00)L> <Data(01)H> <Data(01)L>
<Data(02)H> <Data(02)L> <Data(03)H> <Data(03)L>
----- <Data(0E)H> <Data(0E)L>F7
Data(8bit)=16x<DH>+<DL>
(Data:System Data)
Data(05)~Data(07), Data(0A)~Data(0E)→Dummy Data

[B-2] Dump Compose Mode Section Functions

Format:F0 40 00 20 00 09 03
<Data1(00)H> <Data1(00)L> <Data1(01)H> <Data1(01)L>
<Data2(00)H> <Data2(00)L> <Data2(01)H> <Data2(01)L>
:
:
<Data16(00)H> <Data16(00)L> <Data16(01)H> <Data16(01)L> F7
Section No.(00H~0FH)
Data(8bit)=16x<DH>+<DL>
(Data:Compose Mode Section Data)

[B-3] Dump Compose Mode Setting Functions

Format:F0 40 0n 20 00 09 04
<Data1(00)H> <Data1(00)L> <Data1(01)H> <Data1(01)L>
<Data1(02)H> <Data1(02)L> <Data1(03)H> <Data1(03)L>
----- <Data1(07)H> <Data1(07)L>
<Data2(00)H> <Data2(00)L> <Data2(01)H> <Data2(01)L>
<Data2(02)H> <Data2(02)L> <Data2(03)H> <Data2(03)L>
----- <Data2(07)H> <Data2(07)L>
:
:
<Data16(00)H> <Data16(00)L> <Data16(01)H> <Data16(01)L>
<Data16(02)H> <Data16(02)L> <Data16(03)H> <Data16(03)L>
----- <Data16(07)H> <Data16(07)L> F7
Setting No.(00H~0FH)
Data(8bit)=16x<DH>+<DL>
(Data:Compose Mode Setting Data)

[B-4] Dump All

Format:F0 40 00 21 00 09 00
[B-1]*1 + [B-2]*2 + [B-3]' + F7
#1 : Without "F0 40 00 20 00 09 00" and "F7"
#2 : Without "F0 40 00 20 00 09 03" and "F7"


```

[B-3]' Dump Compose Mode Setting Functions for Dump All
Format:<Data1(00)H> <Data1(00)L> <Data1(01)H> <Data1(01)L>
      <Data1(02)H> <Data1(02)L> <Data1(03)H> <Data1(03)L>
      ----- <Data1(07)H> <Data1(07)L>
      00 00 00 00 00 00 00 00 (8Byte Dummy Data)
      <Data2(00)H> <Data2(00)L> <Data2(01)H> <Data2(01)L>
      <Data2(02)H> <Data2(02)L> <Data2(03)H> <Data2(03)L>
      ----- <Data2(07)H> <Data2(07)L>
      00 00 00 00 00 00 00 00 (8Byte Dummy Data)
      :
      :
      <Data16(00)H> <Data16(00)L> <Data16(01)H> <Data16(01)L>
      <Data16(02)H> <Data16(02)L> <Data16(03)H> <Data16(03)L>
      ----- <Data16(07)H> <Data16(07)L>
      00 00 00 00 00 00 00 00 (8Byte Dummy Data)
Data(8bit)=16x<DH>+<DL>
(Data:Compose Mode Setting Data)
    
```

Group [C] Receive only Special Information

- [C-1] K11/GMega Bank Select


```

Format:F0 40 00 10 00 08 00 00 00 00 00 F7 Receive as GM System On
      (GM bank select of K11/GMega)
      On=UNIT RCV CH (n=0-FH)
    
```
- [C-2] GM System On


```

Format:F0 7E 7F 09 01 F7
    
```

Group [D] Data Request

- [D-1] System Functions Data([B-11]) Request


```

Format:F0 40 0n 00 00 09 00 F7
    
```
- [D-2] Compose Mode Data([B-2]+[B-3]) Request


```

Format:F0 40 00 00 00 09 02 F7
    
```
- [D-4] All Data([B-4]) Request


```

Format:F0 40 00 01 00 09 F7
    
```

Group [E] Write Error

- [E-1] Write Error


```

Format:F0 40 00 41 F7
    
```

Group [F] Machine ID Request

- [F-1] Machine ID Request


```

Format:F0 40 00 60 F7
    
```

Group [G] Machine ID Acknowledge

- [G-1] Machine ID Acknowledge


```

Format:F0 40 00 61 00 09 F7
    
```

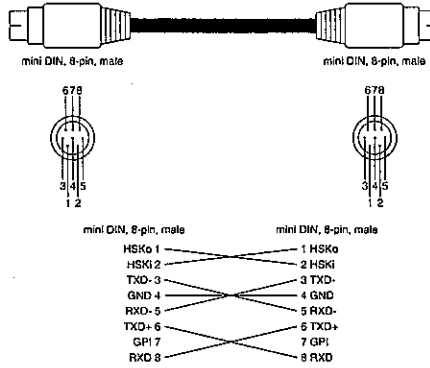
Reference

3.6 GMega LX仕様

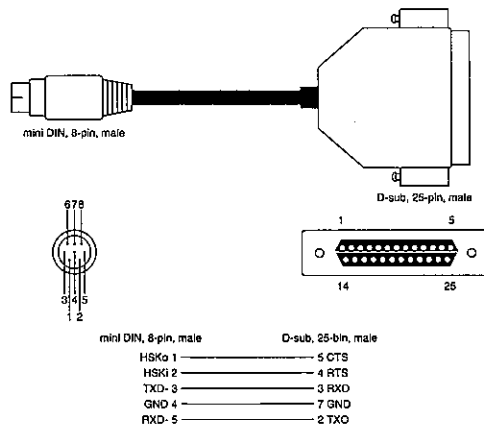
- 同時発音数 (ポリフォニック数)
28 (20/楽音+8/ドラムキット)
- 音色数
160音色+7ドラムキット、GM対応
- マルチティンバー
16セクション
- プログラム・メモリー
16セクション、16セッティング
- デモ
3曲
- 外部端子
電源ジャック (DC IN)
アウトプット (L、R PIN)
ヘッドホン
MIDI (IN、OUT)
シリアル・インターフェイス
- 外形寸法 (mm)
219 (W) × 203 (D) × 46 (H)
- 重量 (kg)
0.9
- 消費電力
4.5W
- 付属品
保証書
オーナーズ・マニュアル
ACアダプター

3.7 シリアル・インターフェース接続ケーブルの仕様

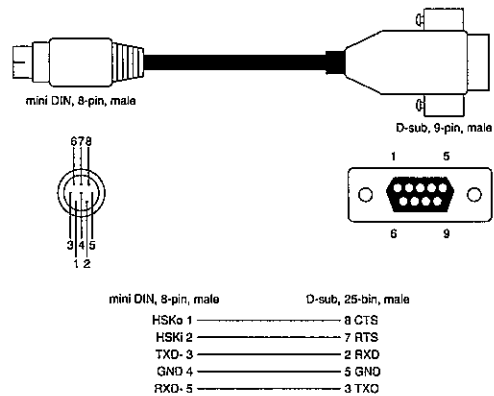
Apple Macintoshシリーズ接続用ケーブル



NEC PC9800シリーズ接続用ケーブル



IBM PC/ATシリーズ接続用ケーブル



3.8 GMega LX GMリセット値/パラメーターリセット値

COMPOSE EDIT

SECTION

Single	001 (C10=DR1)
Seting	C01=01, C02=02, , C16=16

SETTING

Status	ON
Level	100
Pan	00
Rev	Hi
Trans	00
Tune	00
Bnd Rng	02
Mod Dep	35

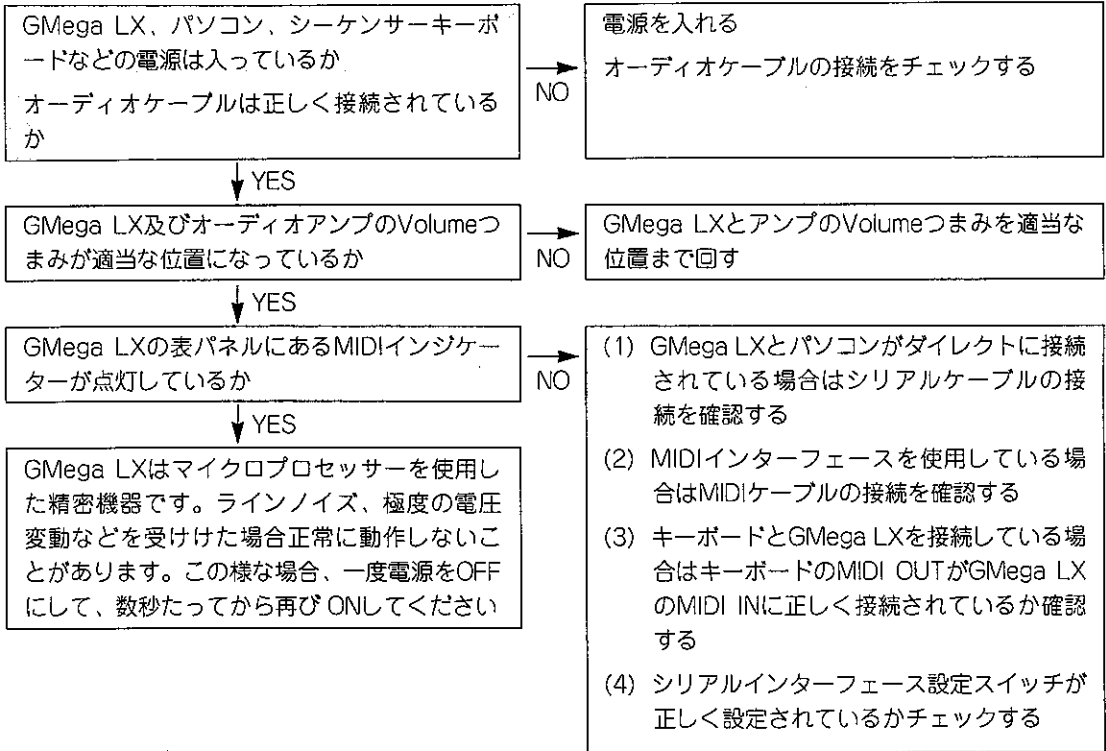
SYSTEM (パラメーターリセット時のみ)

EfType	REV1
RVtime	07
PREdly	00
DpthLo	030
DpthHi	088
VelCrv	01
Tune	00
RcvPrg	ON



GMリセットは外部よりMIDIエクスクルーシブの[C-1]GM System Onを行うか、本体のデモ曲を鳴らすことで行ないます。(→エクスクルーシブデータ及びP.14参照)
パラメーターリセットのやり方は27ページを参照してください。

● 音がでないときには



Reference

以上の点をお調べになっても音がでないときは、このマニュアルをもう一度お読みになり、操作に誤りがないかお確かめください。それでも尚、音がでないときは、使用を中止して最寄りのカワイテクノセンター、またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

● パラメーターリセットについて

GMega LXのファンクションの各設定を工場出荷時に戻す機能がパラメーターリセットです。外部から誤ったデータを流したり、誤動作をした時等にお使いください。

パラメーターリセットのやり方

- ① GMega LXの電源をOFFし、背面のDEMOボタンを押しながら、電源をONにします。
- ② MIDIインジケータがはっきりと点滅をはじめると、DEMOボタンを数回押してください。
- ③ MIDIインジケータがはっきりと点滅をはじめたら、再度電源をONし直します。→これで、パラメーターリセットが完了しました。

パラメーターリセット時の各設定の値については26ページを参照してください。

■ 索引

あ

IBM PC/ATシリーズ.....7, 11, 25
 Apple Macintoshシリーズ.....7, 11, 25
 エクスクルーシブ・データ.....8, 16, 21
 NEC PC9800シリーズ.....7, 12, 25
 エフェクトタイプ.....17

か

KAWAIサウンドパレットシリーズ.....12
 キーボード・モニターアンプ.....10
 コントロール・チェンジ.....9, 15

さ

システム.....16
 GM.....6, 8
 GMリセット.....16
 シーケンサー.....12
 シリアル・インターフェイス.....7
 シリアル・インターフェイス接続ケーブル.....25
 シングルセレクト.....15
 シングル・パッチ.....15
 S.M.F.....8
 ステータス.....16
 セクション.....15
 セッティング.....16
 SOLO (ステータス).....16

た

ダンプオール.....17
 ダンプシステム.....17
 ダンプセクション.....17
 チューニング.....16
 チューン.....17
 デプスハイ.....17
 デプスロー.....17
 ドラム・キット.....15
 トランスポート.....16

は

パン.....16
 バンク.....15
 プリディレイ.....17
 プリディレイ.....17
 プログラム・ナンバー.....15
 プログラム・チェンジ.....9
 ベンドレンジ.....16

ま

マルチティンバー.....6
 MIDI.....8
 MIDIインターフェイス.....8, 12
 MIDI機器.....8
 MIDIキーボード.....8, 13
 MIDIケーブル.....4, 8
 MIDIチャンネル.....8
 モジュレーションデプス.....16

ら

RND (パン).....16
 リバーブ.....9, 16
 リバーブタイプ.....17
 レシーブプログラム.....17
 レベル.....16

KAWAI